令和６年 第５回定例会（９月）

一　般　質　問

質問順位	議席番号	質　問　者	質問順位	議席番号	質　問　者
1	4	渡　辺　千　恵	4	8	岸　野　雅　人
2	１０	田　村　計　久	5	5	南　雲　好　幸
3	6	並　木　利　彦	6	１１	宮　田　眞理子

質問順　1　　渡　辺　千　恵　議員

質　問　事　項	質　　　問　　　要　　　旨	答弁要求
1．職員採用について	町の職員採用は、「湯沢町定員適正化計画」に基づき職員採用試験の募集を行い採用していると思います。 昨年から一般事務職員の社会人枠の募集も始まりました。経験のある方を採用することにより、即戦力になることを期待しているところです。また、資格免許職の募集もしているようですが、なかなか応募者もないのが現状だと聞いています。 今後退職する方なども踏まえ、募集の時期や採用試験の方式も含め町独自の試験を考えていく必要があるのではないか。 ① 社会人枠を募集する際、一般事務職だけではなく、土木や建築業務の経験を有する技術職の募集も考えてみたらいかがか。また即戦力職員として必要な能力を測れる試験の方法を取り入れたらいかがか。この2つについて現在検討していることがあるのか。また、していないのであれば検討の余地があるのではないか。 ② 毎年募集をかけても社会福祉士は、5年間採用に至っていないと聞いています。いまのままの募集を続けていても見つからないのではないか。また、保健師についても今年は定員適正化計画に基づき募集していないようですが、今後職員の退職なども考えた場合、応募者がなく欠員が生じる恐れがあるため、毎年募集していくことを考えていくことが必要ではないかと思うが如何か。	町　長
2．独居の方についての対策を	一人暮らしで身寄りのない方への、町対応が増えてきているように感じています。令和5年度、身寄りがない方が亡くなり、法律に基づき、町が関わった方が3人と聞きまし	町　長

	た。湯沢町はマンションも多く、プライバシーの問題もあるので簡単に進められない問題だとは思います。このような方が、これからも増えていくのではと心配しています。 ① 昨年、生活福祉常任委員会で視察された横須賀市の取り組みを参考に、低所得者などを対象に葬儀、埋葬の契約を生前に交わす「エンディングプランサポート事業」と自分の墓の所在や自身の名前連絡先、かかりつけ医などを記したエンディングノートを町に登録する「私の終活登録事業」を、湯沢町としてどのような取組ができるか検討しているところだと思う。職員も少ない。日常業務も忙しい中で大変ではあるが、現在どのように進んでいるのか。また時間も労力もかかる事業だと思っている。進める上で課題があるようならお聞かせください。 ② 私が危惧しているもう一つの課題は、マンション定住者の課題です。大半の方は違いますがここ数年、「高齢」「独居の方」「生活保護を受けられている方」などが増えていると聞いています。問題点を聞くと、マンション管理組合では一人一人の情報を管理することは難しい。 そして、中でもこのような方は人との接触が少なく、社会交流が少ない。緊急連絡先も不明である。また、救急搬送も多いと聞いています。また今後、認知症などになった時にどう関われるのかも課題です。先日私も、そのような方がお客様に見えられ福祉課に繋いだところです。 プライバシーの問題もあるので簡単に進められることではないですが、このようなことも町の課題の一つです。 このような課題にどう向き合うのか、考えているのか聞かせてください。	

質問順　2　　　田　村　計　久　議員

質　問　事　項	質　　　問　　　要　　　旨	答　弁 要　求
1．観光自主財源「宿泊税」について	今年度6月に観光自主財源「宿泊税」について記者発表が行われました。記者発表ということで大筋の方向性が出たものと思っていましたが、その後このことに関して、各地域から様々な意見や異論が噴出しています。今年度5月の全員協議会資料から7月の説明会資料に基づき、これまでの経過、事業者からの指摘を含め、今後についてお伺いをします。 ① 令和2年湯沢町観光協会長から「観光財源検討委員会の設置のお願い」提出とあるが、当時検討会は設置されたのか。 ② 令和4年7月から令和5年2月の間に、まちづくり機構が4回の観光自主財源勉強会を開いた。その後11月～2月に行政庁内検討が開かれている。 この流れは、両者連携した流れで行われたのか。「宿泊税」と決めたのはどの段階なのか。 ③ 町長が記者会見で今年度3月条例提出、令和8年施行したいとしたが、この時点での記者発表の必要性はあったのか。 ④ 行政、町づくり機構が、6月に各観光協会・関連団体に対し、それぞれ「意見交換会」さらには「アンケート調査」が行われた。 令和4年から、まちづくり機構が勉強会をおこなっているのに、なぜ下部組織の意見集約ができていないのか。町は、対象事業者の意向調査をなぜしていなかったのか。 ⑤ 導入の背景に、観光立町として持続可能性を高める必要があるとし、その目標像実現のための戦略に8項目あ	町　長

	げている。 この税の充当事業は 〇地域交通の再編 〇湯沢町観光まちづくり機構が行う各種施策 〇観光関連施設の維持 通年型観光地を強く望む、観光関連業者の期待に応えていないのではないか。 ⑥ 町の財政状況で財政調整基金残高に触れているが、「宿泊税」導入後も固定資産税他減収は続くので、当面補うことはできても今後も問題は残る。 改めて現在の財政支出を精査した上で、観光事業者・町民に説明する必要があるのではないか。 ⑦ これまでの進め方で「宿泊税」の導入は、事業対象関係者の賛同を得ることは困難と考える。我々議員も現在の状況で賛成することは非常に難しい。町長の考える今年度３月条例提出は、見直す必要があると思うが考えを伺います。		

質問順　３　　　並　木　利　彦　議員

質　問　事　項	質　　　問　　　要　　　旨	答弁要求
１．観光自主財源について	① 湯沢町の現時点で、観光自主財源導入について宿泊施設の同意を得るには、下記の３つの条件が必要だと私は思うので、一つずつ町長の考えを伺う。	
	(1) 税収は、急に減少したわけではない。徐々に減少してきたと認識している。減少しているのにもかかわらず、無駄な公共観光施設の投資があったように私は感じる。公共観光施設も利用者が減少しているのに、公共観光施設の見直しもしてこなかった。 これからの湯沢町の観光振興に、「どのような施設」が「どのような目的」で必要なのかを具体的に示さなければならないと思うが如何か。	町　長
	(2) 新型コロナ収束後の日本、世界の中で湯沢町を選んで頂ける具体的な対策が示されていない。観光自主財源導入後、他の観光エリアの競争に勝てるのか。	町　長
	(3) 新型コロナ収束に向かい、夏期観光は動き出している。新型コロナ禍前の、宿泊状況以上に観光客を戻さないと、物価高で経費がかさみ収益が上がらない。ましてや、ゼロゼロ融資の元金を返さなければならない。このままだと、宿泊施設の融資を受けたままの廃業が多くなると予想できる。 どうしても具体的な経済復興の動きが必要となってくるが如何か。	町　長
	② (1)～(3)の答弁いただいた他に、町長が観光自主財源導入にあたり宿泊施設が受け入れて頂ける条件と考えることがあればお聞かせ下さい。	町　長

2．湯沢町観光まちづくり機構の観光自主財源検討勉強会について	湯沢町観光まちづくり機構で、４回の観光自主財源検討勉強会が行われている。機構の中での勉強会なのだが、今回の各地区の説明会において多数の異論がでている。 なぜ、このように観光自主財源検討勉強会が行われているにも関わらず異論が出てきているのか。町から当然、湯沢町観光まちづくり機構に対して状況を聞いていると思うがどう言うことなのか。 そもそも勉強会を４回もやっている機構が、さらに地区観光協会等へ説明会が必要だったのか見解をお聞きします。	町　長
3．プロポーザルで業務を受けている業者のSNSについて	議会が町に、プロポーザルで受けている業者の事業のことを質問するのは当然のことで、執行機関の運営が適正に行われているか見ることが議会の役目であるからである。 言論の自由ではあるが、その業者に SNS で議会のことを書かれるのは納得できない。６月の一般質問の「飲食、宿泊用の海上コンテナ（ＩＳＯ）設置について」に関わってくるのだが、町長の見解をお聞きします。	町　長

質問順　４　　　岸　野　雅　人　議員

質　問　事　項	質　　　問　　　要　　　旨	答　弁 要　求
1.「宿泊税」の導入、納得のゆく説明を求める	目前の歳入不足と歳出増大による財政のひっ迫。より多くの税収を求めることは理解できる。現段階で「宿泊税」は議案になっていないので賛否を言う立場にはないが、示された内容に腑に落ちないことが多々ある。先ずは、町長が考える新税の導入計画への議論を通じて、町民とともに理解を深めたいと考えるので、納得のゆく説明を求める。 ①「宿泊税」徴収の想定は、何人からおいくら納税頂き、総額はいくらか。特別徴収義務者は何軒か。ちなみに現在の「入湯税」との比較ではどうか。回答は文書でもいただきたい。 ②「宿泊税」導入への背景と目的の確認をさせていただく。町内二次交通、町有観光施設、観光まちづくり機構、県に先んじて、などと聞くがどうなのか。 ③ 最大の疑問は『日帰りのお客さんも多い中、なぜ「宿泊税」なのか？』 　実質値上げとなってしまうが、入湯税もある中、宿泊施設に泊まったお客様だけが納得して納税頂けるだろうか。「民泊」は対象となるがキャンプはならないと聞く。日帰りのスキー客も対象外のようだが、いかがか。 ④ 特別徴収義務者のご負担には、どう応えるつもりか。 ⑤ 目的達成への選択肢は、他にないのだろうか。	町　長
2．学業の習熟度合い向上のために	総務文教常任委員会だったか、湯沢学園の対象児童生徒の全国学力テストの集計と傾向を見せて頂いた。 今後の個々のやる気と取り組み次第だが、仮に現状の偏	教育長

	差値のままでは入れる大学はかなり絞られてくる。無論、学力の向上は学校だけの問題ではない。各ご家庭は当然のこと、地域社会の風潮も影響してくる。そこで、湯沢町で育まれる子どもたちの将来の幸せのために議論してみたい。 ① 一般論として、学力と生涯収入は関連性があると言われるが、教育長の認識はいかがか。 ② 地域社会と保護者・児童の意識改革が必要と思うがどうか。 ③ 学力の向上には、競争意識が欠かせないと考えるがどうか。	

質問順　5　　　南　雲　好　幸　議員

質　問　事　項	質　　問　　要　　旨	答弁要求
1．防災訓練について	今年は元日から震度7の能登半島地震が発生し、8月8日に南海トラフ西端の日向灘で震度6弱、8月9日には神奈川県西部にて震度5弱、15日には同地域で震度4、8月19日午前0時48分茨城県北部にて震度4、2分後震度5弱と続いている。 9月1日は我が町において防災訓練が予定されていたが、台風の影響で中止になった。事前に各町内会にも訓練の内容が回覧されていたが、訓練の内容について最悪を想定した更なる緊張感を持った訓練が必要と思うが、町長の見解を伺う。	町　長
2．災害時のための指揮所訓練の充実を求める	大災害が頻発する中、地元で被災しなければ私自身災害が他人事になっていると感じた。これで十分という対策は無いが、いざという時対策を行う上で、指揮者である町長の責務は重い。 一分一秒を争う場面において状況を判断し、方針を下さなければならない。そこで、自衛隊の指揮所訓練を参考にするため指導を仰ぎ、指揮所訓練を充実させる必要があると思うがいかがか。	町　長

質問順　6　　　宮　田　眞理子　議員

質　問　事　項	質　　　　問　　　　要　　　　旨	答弁要求
1.「町としてできる終活支援」の整備について	R5年12月議会で、「町としてできる終活支援の整備について」一般質問させて頂いた。町長からの答弁では、実施する方向で勉強するとのことであった。 ① 終活支援の方向について、どのように進んでいるかを伺う。 ・終活登録事業について、湯沢病院や社会福祉協議会とどのように協議しどのような方向に向かっているのか。 ・リビングウィル等、その後に必要なことについて聞き取りなど、形になっているのか。 ・協力事業者との生前契約について、終活支援事業について理解していただいているか。 ② 終活の先には、お墓の問題がある。「おひとり様」など独居がふえていく事は予想される。終の住処として湯沢を選んでくる方もいる。代々のお墓があれば問題ないと思われがちだが、その後の維持管理費用も必要となり、遺骨を引き取り納骨したものの、年を経ていくと維持費の収納も難しくなっていく。 「集合墓・合葬墓」については以前、永代供養をしてくれる寺院にお願いしたい、と答弁をいただいているが、この先を見据えれば「集合墓・合葬墓」は必要になってくる。町長の見解を伺う。	町　長